

HAWAII MONTHLY

March, 2024

Vol.12 No.127

カハラホテルから
見るココヘッドと
ココヘッドクレー
ター



米国のシニア世代の資産は、コロナ禍の住宅価格上昇で91,000ドルも増加

最新の調査によると、一般的なシニア世代の資産は、パンデミック禍における住宅価格や株価の上昇などで、91,000ドルも増加したことがわかりました。

2022年の間に、65歳またはそれ以上の年齢の家庭でどれほど資産（中間値）が増えたかを精査した結果、判明したことです。40歳から64歳までの家庭では、資産の増加（中間値）は

め、資産の増加額は少ないものの、2019年から2022年の3年間では233.33%になり、40歳～64歳までのグループの28.18%、65歳またはそれ以上の年齢のグループの30.32%を大

Wealth of US Seniors Is Soaring シニア世代の資産は急上昇

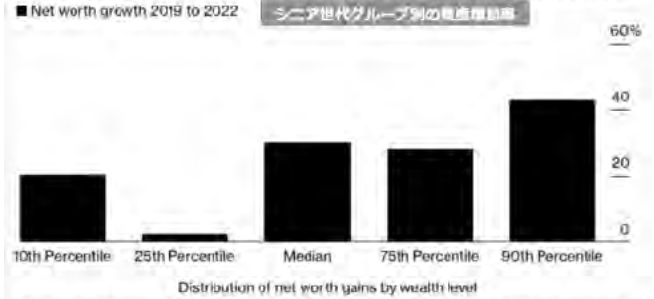
Households headed by person 65 or up have seen net worth rise \$91,000



Source: Federal Reserve Bank of St. Louis Institute for Economic Equity, Survey of Consumer Finances

Seniors' Net Worth Climbed Across Wealth Levels

While all groups gained, the wealthiest households ages 65 and up rose most



Source: Federal Reserve Bank of St. Louis Institute for Economic Equity, Survey of Consumer Finances
Note: The 90th percentile refers to the share of seniors with a net worth equal to or greater than 90% of the population

これは、連邦準備銀行の消費者金融調査 (Fed's Survey of Consumer Finances) のデータを基に、セントルイス連邦準備銀行 (Federal Reserve Bank of St. Louis) が、2019年から

57,800ドルでした。

18歳から39歳までの家庭では、資産の増加が一番少なく、31,600ドルでした。これは、マイホームを購入するなどの一次取得者層が中心だった

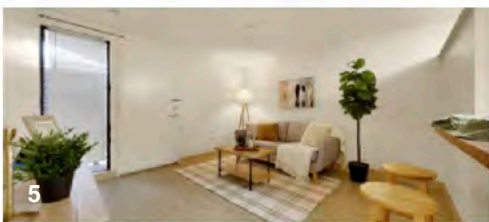
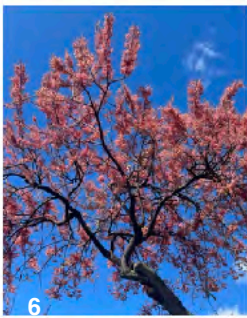
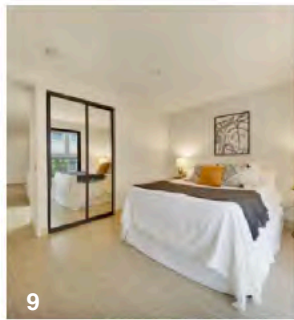
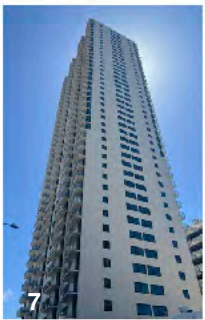
きく上回りました。

(次ページに続く)



Life & Culture

In Hawaii



セントルイス連銀の経済価値研究所 (The Institute for Economic Equity) のデータ・サイエンティストのローウェル・リケッツ (Lowell Ricketts) 氏は、直近のレポートで「一般的には、シニア世代の方が若い世代よりも資産を持っているのは当たり前だが、コロナ禍の3年間における不平等が明らかになった」と指摘しています。

またローウェル氏は、「これはゼロサム状況ではないが、若い世代にとって資産が約32,000ドルも増加すれば、金銭的・経済的に余裕が持てるだろう」と述べています。

資産が増加したシニア世代の52%は、金融ではなく、住宅価格の上昇による持ち家のエクイティ (含み益) の増加によるもので、48%は退職年金や株式などの金融資産によるものでした。

全米のシニア世代は、百分位数 (Percentile : 全体を100に分ける統計解析) のどのグループに属していても資産は増えていますが、特に第5グループ (90th Percentile) に入る65歳またはそれ以上の年齢の家庭の場合、90%が資産を持っているかそれ以上に増加しており、金額にすると893,000ドルも増加しています。最初の10のグループに属する家庭の資産は、1,181ドルの増加にとどまっています。このグループは20%の増加になり、増加率は大きいのですが、低い (少ない) 金額から始まっているので含み益が低く (少なく) なっています。

Source: Realtor.Mag, Bloomberg

1. 日本とハワイの交流で1995年から開催されているホノルルフェスティバル (Honolulu Festival) 。今年もワイキキビーチ沖で見事な長岡花火が打ち上げられました。 2. 7. 5月完成予定のカカアコ (Kakaako) の高層コンド「イリラニ (Ililani) 」。インスペクション時に撮影しました。 3. 10. 昨年11月にオープンしたワードビレッジ (Ward Village) で人気のシンガポール料理「ストレイツ (Straits Restaurant & Lounge) 」の店内とガーリックヌードル (Garlic Noodles) 。 4. プルメリアビーチハウスで (Plumeria Beach House) 食べ応え満点のシグネチャー弁当。 5. 9. マキキ (Makiki) 地区で4月から販売予定の2ベッドルームのコンドミニアム。 6. この季節に咲く桜によく似たタバブイヤピンクツリー (Tabebuia Rosea) 。 8. 中庭から撮影したザ・カハラホテル (The Kahala Hotel) 。

編集後記 : 2020年の3月からコロナで全てが止まったような時期に突入しましたが、すでに4年が経ちました。アメリカ疾病予防管理センター (CDC) は、今年の3月1日から新型コロナウイルス感染症検査で陽性になった場合の5日間の隔離規制を廃止しました。ワクチン接種や集団感染による免疫が広がり、社会的な脅威がなくなってきた背景のようです。3月中旬には、恒例のホノルルフェスティバルがワイキキで開催されましたが、今年は姉妹イベントのホノルルレインボー駅伝がパンデミック以来5年ぶりに実施されました。初の試みとしてジャパンプードフェスティバルも開催され、日本酒の試飲や海産物を使った特別メニューが提供されました。

The Magic Number

+38%

商業不動産大手のCBREの調査によると、現時点の毎月の平均的なモーゲージ (mortgage : 住宅ローン) 支払額が、平均的な賃貸住宅のレントの支払額よりも38%も高くなっていることが判明しました。

Source : The Wall Street Journal